

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成29年3月27日

計画の名称	1 海岸利用促進のための海岸環境整備（防災・安全）																
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象		大分県									
計画の目標	<p>国東港海岸（武蔵（藤本）地区）及び別府港海岸（関ノ江地区）は、台風時等荒天時における波浪による越波により、背後の地域や主要幹線に被害が生じ、地域住民に不安を与えている状況であり、早急に海岸の整備を行う必要がある。</p> <p>国東港海岸（武蔵（藤本）地区）は、大分県の空の玄関口である大分空港の北に位置し、別府港海岸（関ノ江地区）は県内最大の交通量である国道10号に隣接しているため、多くの海岸利用者が見込まれる。よって、海岸を整備するにあたっては、面的防護整備方式により施設の整備を行うことにより、背後地への越波を低減させるとともに、快適な海浜利用の増進を図り、地域の活性化に資する事を目標とする。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業箇所において想定される波浪による越波により発生する浸水被害を解消する。</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	事業箇所において浸水被害のおそれのある区域の面積					当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)									
						39.2ha	-	39.2ha									
全体事業費	合計 (A+B+C)	674百万円	A	674百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%								
交付対象事業																	
A.1 基幹事業（海岸事業）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別①	種別②	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-2	海岸	内地	大分県	直接	-	環境	継続	国東港海岸海岸環境整備事業	離岸堤1基、護岸L=340m	国東市						221	
1-A1-3	海岸	内地	大分県	直接	-	環境	継続	別府港海岸海岸環境整備事業	護岸L=235m、突堤2基、人工海浜(養浜) V=18000m3	別府市						453	
小計（海岸事業）											674						
合計											674						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計											0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

その他関連する事業														
計画等の名称 地域自主戦略交付金事業（大分県）														
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					金体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
合計												0		
		A'		B'		C'		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$					0.0%	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・護岸や離岸堤および人工海浜の整備を行い、台風や高潮等の越波による浸水被害の軽減を図った。									
II 定量的指標の達成状況		指標（浸水被害 のおそれのある 区域の面積）	最終目標値	39.2ha	目標値と実績値 に差が出た要因	国東港海岸（武蔵（藤本）地区）において、事業計画を見直し事業費の削減を行った結果、事業効果の発現を早めることができたため、目標を上回ることが出来た。						
			最終実績値	32.2ha								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)			-									
3. 特記事項（今後の方針等）												
今後も海岸環境整備を促進し、背後地への越波を低減させるとともに浸水被害の軽減を図り、快適な海浜利用及び安心・安全な暮らしを実現するため、本事業を推進する。												

